

JA だより



—自然のめぐもりと暮らしたくて—



謹賀新年



新年を迎えて

しずない農業協同組合代表理事組合長 西村 和夫



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

組合員の皆様には、ご家族とともにご健勝で新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年の日高地方は、年明けの低温と一時的な大雪に見舞われたものの、その後は、大きな災害もなく、安定した穏やかな気候が続き、各作目ともに良い出来秋を迎えることができたものと考えております。

しかし、その穏やかだった気候とは裏腹にJAと農業を取り巻く環境は更に厳しさを増し、農協改革法案の成立、TPP大筋合意など、我が国の農業史上かつてない

程の組織情勢の変化があった一年となりました。

また、JAしずない、JAにかつぷ、JAひだか東の3JAの合併につきましては、本年2月が目標となっておりましたが、3JAとも財務の改善中ということで、合併につきましては、まだ時間のかかる状況となっております。

3JAで引き続き協議を進めていき、組合員皆様の理解と協力の中で、合併に向けての環境を整えていきたいと考えております。

地域の基幹作目については、各作目とも厳しい環境のもと、個々の経営での創意工夫と、更に各振興会を中心に「安全・安心・良品質」確保に取り組んできた結果、全体の取り扱いで当初計画を上回る成果となりました。各位のご苦勞に敬意と感謝を申し上げます。次に各作目について申し上げます。

水稲は、全道の作況指数104に対して、日高は103となりましたが、当地区では、整粒率の高

い良い作柄となったことに加えて、プライベートブランドの特別栽培米「万馬券」の食味が各方面で高く評価されたことを受け、高値で取引されています。

青果については、ブランド品として定着したミニトマト「太陽の瞳」については、春先の低温等の影響を受け、出荷量については、あまり伸ばすことができませんでした。

しかし、この低温による出荷時期のズレにより、他産地と出荷時期が重ならず安定した販売を行うことができたことから、取扱金額が過去最高となる9億3000万円に達し、青果全体では、10億円という大台を超える10億5000万円となりました。

また、この大台突破には、5組の新規就農者による約6000万円、目名地区のハウス団地の研修生の約4000万円という取扱金額も大きな原動力となっております。

今年も新ひだか町農業振興対策協議会と連携し、新規就農者及び研修生の支援を続け、地域の経営基盤の維持拡大に努めて参ります。

酪農については、前年対比で乳価（kg単価）が2円上昇し、出荷数量もほぼ前年並みであったことから、計画通りの取り扱いで推移しております。

黒毛和牛については、日頃から研鑽による素牛づくりが、市場関係者から高い評価を得ていることに加え、市場の素牛の不足感から平均購買価格は前年と比較して約9万9000円の増加となり、去勢で72万3000円、めすで62万1000円という高値となりました。

全体の取り扱いについても青果に続いてこちらも過去最高となる5億円という結果となりました。

最後に基幹産業である軽種馬については、国内経済に少しずつ回復の兆しが見え始め、更に東京オリンピック開催決定により加速感が出てきたことからののか、昨年の市場販売頭数及び販売額は、366頭、30億3000万円と前年同期比で48頭、5億7000万円と大幅な増加となりました。しかし、平均販売価格については、まだ低い状況となっております。今後の更なる国内景気の回復及び上昇を期待したいと思います。

また、昨年は12月6日に中京競馬場で開催された「チャンピンスC」を(有)グランド牧場生産のサンビスタ号が、12月16日に川崎競馬場で開催された「全日本2歳優駿」を(有)フジワラファーム生産のサウンドスカイ号が優勝し、12月に入り、静内産馬の嬉しい活躍が相次ぎました。改めまして生産牧場の皆様にお祝いを申し上げます。

ホッカイドウ競馬の開催結果は、インターネットでの馬券発売が引き続き好調だったことから、計画対比で13・46%、前年対比でも7・60%上回る169億円の発売額を記録し、3年連続で黒字収支となりました。

開催期間中、各振興会会員をはじめ、関係者と地域の皆様が一丸となってご支援を頂いた賜物と深く感謝し、お礼を申し上げます。

そして、本年からは新たに「第2期北海道競馬推進プラン」が策定される予定となっております。産地として、推進プランと歩調を合わせた支援を行っていきたく考えておりますので、引き続きご理解とご協力の程宜しくお願い致します。

本年は「JAしずない農業振興

5ヶ年計画」の2年目となっております。厳しい農業環境の中ではありますが、組合員皆様が強い農業経営ができますように当JAとして可能な限りの努力をしたいと思います。

本年も皆様をはじめ、ご家族にとりまして実り多い良い年でありますようご祈念申し上げます、新年のご挨拶と致します。



謹んで新年のご祝詞を申し上げます



代表理事組合長

西村 和夫

副組合長

小倉 正信

常務理事

千葉 利一

理事

伊藤 佳幸

片岡 康成

谷岡 雅幸

泊道 修二

信用担当理事
兼金融部長

荒谷 昭二

代表監事

渡辺 隆

監事

太田 勝之

野表 忍

管理部長

山岸 剛

経営融資部長

兼田 由和

営農部長

樺田 文明

経済部長

大滝 康正

外職員一同



平成28年の年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会会長 飛田 稔 章



組合員並びにJA役職員の皆様方には、ご健勝にて輝かしい新年を迎えられたものと心よりお慶び申し上げます。

さて、昨年の北海道農業は、一部地域において、暴風雨被害が発生するなどの影響がありました。全体的にはおおむね順調な作柄となりました。

皆様方におかれましては、日々の営農と併せ、地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対して、改めて敬意と感謝を申し上げる次第です。

さて、昨年の11月11日に組合員やJA役職員等、関係者の方々の参加のもと、第28回JA北海道大会が開催されたところです。

「北海道550万人と共に創る力強い農業と豊かな魅力ある農村」をメインテーマとして、向こう3ヶ年にわたるJAグループ北海道の対応方針を確認頂きました。

組合員・JA・連合会・中央会が各役割を再確認した中で、JAグループ北海道の英知を結集し、基本目標の達成に向け取り組んでいくとともに、北海道550万人から信頼され、ともに歩んでいくJAグループ北海道を目指すこととしております。

関係各位の特段なるご理解とご協力のほどをよろしくお願い申し上げます。

平成27年は、農協改革法案の成立、TPP交渉の大筋合意など、我が国の農業・JAにとつて極めて大きな情勢変化があった一年でした。

農協改革については、その主要な目的でもある法改正と農業所得向上の関連性などについて、未だに十分な理解が進まない中、准組合員制度のあり方や監査の仕組みなどの重要案件が今後の検討課題となっており、改めて地域農業の

振興や農協経営への影響がないよう、政府に対する働きかけを含め、関連する取組を進めていく必要があります。

一方、TPP交渉に関しては、交渉参加12ヶ国の閣僚会合を経て、昨年の10月5日に大筋合意がなされましたが、守秘義務を盾に交渉に関する情報開示や国民的議論がないままに大筋合意という結果に至ったことに対して、強い憤りを覚えるところです。

今後、通常国会においてTPP交渉に係る国会審議がなされる予定ですが、改めて政府並びに国会議員に対して、今回の合意内容の全容と影響、更には国会決議との整合性について十分な説明責任を果たすとともに、生産者の不安を払拭し、持続可能な北海道農業の確立に向け、万全な対応がなされるよう強く求めていく必要があります。

世界規模での異常気象の発生、人口増加、経済情勢の変化などを背景に国際的な食料の需給事情は常に不安定な要因を抱えており、我が国として、先を見据えた中で食料自給率の確保などによる食料の安全保障体制をいかに確立していくかが問われています。

言うまでもなく農業は、食料の

安定供給という、国民生活に欠かすことができない極めて重要な役割を担っている生命産業であり、その役割は未来永劫変わることはありません。

我々農業者・JAグループは、その責任感と自負心のもと、改めて協同の精神に立ち返った中で、現下の様々な課題を克服すべく、力を合わせていくとともに、農業・JAに対する幅広い理解と共感を得る取組を積極的に進めながら、長年にわたり先人が築き上げてきた本道農業並びに農業協同組合の基盤を更に発展させ、後世に継承するよう、ともに頑張ろうではありませんか。

今年の干支は申年(さるどし)です。

一説には、申は、伸ばすという意味があり、「草木が十分に伸び、実が成熟していく時期」を表しているとのことであります。

今年は、この申年にあやかり、天候に恵まれ、実り多い充実した一年となりますよう、併せて、北海道農業並びにJAグループ北海道の一層の発展を心よりご祈念申し上げます、新年にあたってのご挨拶と致します。

新年にあたって

日高農業改良普及センター所長 福谷 洋一



新年あけましておめでとうございます。

生産者の皆様には、日頃より普及活動に対しまして、ご理解とご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

昨年は、6月後半から7月前半と8月後半に低温となったものの、多くの作物では平年並から平年をやや上回る生育となりました。

このような結果となりましたのも生産者の皆様の高い営農技術と日頃からの適切な管理作業の賜物であり、心より敬意を申し上げます。

品目別の作柄につきましては、水稻は作業や生育に遅れは見られず、幼穂形成期後や登熟初期に気温が平年を下回ったものの、大き

な影響はなく稔実初数は平年並となりました。作況指数は103のやや良となり、品質も良好なものとなりました。

牧草の一番草は、生育は平年よりやや早く、収穫作業も平年より早く進みました。収量は、全般に降雨が少なめに推移したこともあり、平年をやや下回りました。二番草は、収穫始めが降雨でやや遅れたもののその後は順調に進みました。二番草収量は、生育初期に降雨が少なく生育の停滞が見られ、平年を下回りました。

飼料用とうもろこしは、春作業は順調に進み、生育も平年よりやや早めに推移しました。雌穂の黄熟や収穫作業は平年並となりましたが、収量は平年を上回る水準となりました。

野菜では、主力品目であるミニトマトは、加温促成作型で生育は概ね順調だったものの、やや小玉傾向となりました。抑制作型では、8月初旬の高温により着果不良が見られ、8月後半から9月初旬の低温により生育の遅れが見られました。品質は全般を通して良好で

したが、小玉傾向と8月の高温による着果不良で収量はやや下回りました。販売金額は、単価の高値が続き、8億円を達成した前年を大きく上回り、9億円超えの記録となりました。

ほうれんそうなどの葉菜類は、期間を通して順調に推移し、収量・品質とも平年並となり、取扱数量・単価とも昨年を上回りました。黒毛和牛の素牛出荷頭数は、前年比で見ると5%の減少となりましたが、南北北海道市場での取引価格は、一頭単価が前年より15%上昇し、販売金額では前年を9%上回る結果となりました。

軽種馬は、厳しい状況にはありますが、市場での売却頭数、売却率、平均価格とも前年を上回る回復基調に明るい兆しを感じた生産者も多いことと思います。

また、ホッカイドウ競馬の発売金額は169億円となり、前年以上の実績となりました。特にAiba静内の発売金額は昨年到现在に続き、町ぐるみでの応援が根付いてきたことが伝わります。

TPP交渉は、昨年10月に大筋合意に至り、今後、関税撤廃・自由化に向けての動きが、北海道農業に与える影響は小さいものではないと見られます。

当普及センターでは、ミニトマトを中心とした野菜生産振興と黒毛和牛の良質生産に向けた取組強化など、新規就農者の受け皿としての機能を備えた産地形成を目指し、生産者・関係機関の皆様と共同しながら取り組んで参ります。併せて、軽種馬においては、「強い馬づくり」に向けた「強い草づくり」支援に努めて参ります。

また、生産者と消費者が安全・安心な農畜産物で繋がるべくクリン農業の実践やGAP認証への支援や生産者の所得確保に向け、地域資源を活用した6次産業化推進に向けて活動して参ります。

今後とも、人が残る・残れる地域を目指し、農業がその中心的役割を担えるよう、地域振興に寄与して参りたいと思っております。

生産者の皆様におかれましては、今年も更なる発展の年となりますことをご祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。



新年に向けて

J A しずない女性部 部長 木田 正子



新年明けましておめでとうございます。
います。

組合員、各関係機関の皆様におかれましては、新たな年をご家族お揃いで健やかに迎えのことに
お慶び申し上げます。

豊作を願い、自然の恩恵を受けながら営む農業に、近年は、毎年のように豪雨・暴風・大雪といった自然災害が降りかかり、胸の痛む想いです。

農業に対して、厳しい環境の中、昨年はT P Pの大筋合意、農協改革と農家の努力だけでは避けられない時代を迎えたように思います。この逆境の中「協同の精神」「協同の力」を信じ、女性部活動を進めていきたいと考えております。

女性部活動について、昨年は、

新年を迎えて

J A しずない青年部 部長 落合 信幸



新年あけましておめでとうございます。
います。

組合員、各関係機関の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素から青年部活動に対しましては、深いご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

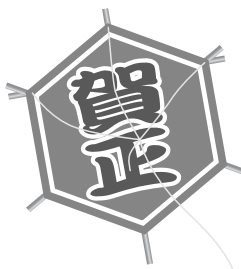
T P P協定交渉は、昨年の9月下旬から10月上旬にかけてアメリカ・アトランタで行われた交渉で大筋合意をみせ、農林水産物の関税は、全体の8割が即時もしくは段階的撤廃の対象となり、聖域とされた重要5品目についても3割が関税撤廃になるなど、日本において今までにない農畜産物の市場開放がなされる結果となりました。このような先行きが不透明な状

況の中で、私たち青年部員一人一人が、事業や研修等を通して、視野を広げ、様々なところで得た知識を糧として、知恵を出し合い、厳しい時代を乗り越えていけるよう取り組んで参ります。

昨年の青年部の活動と致しましては、しずない農業まつりへの出店、ハロウィンの開催、小学校への食育出前授業等の取り組みを行いました。

特に小学生を対象に行った食育出前授業では、消費者と生産者との繋がりを築くための大切な第一歩として、「食」の大切さを伝えていきたいと考えております。

本年も組合員の皆様をはじめ、各関係機関の皆様にとりまして、各関係機関の皆様にとりまして、素晴らしい一年となりますようご祈念申し上げます、新年のご挨拶と致します。



牝馬としては初の快挙！

サンビスタ号チャンピオンズC優勝

12月6日、中京競馬場で開催された「第16回 チャンピオンズC」(GIダート1800m)で(有)グランド牧場生産のサンビスタ号(牝6歳 父スズカマンボ 母ホワイトカーニバル)が、GI9勝のホツコータルマエやGI5勝のコパノリッキーといった強豪牡馬たちを撃破し、牝馬としては初となるJRAダートGI優勝を果たしました。

鞍上のミルコ・デムーロ騎手は、2枠4番という好枠を活かして、サンビスタを馬群中団のインコースびつたりのポジションでレースを進めさせました。これは、最短距離を走れる反面、前の馬が蹴り上げた砂を多く浴びることによる戦意喪失や失速した前の馬が壁となり、抜け出せなくなるといったリスクをはらんだ戦術ではありません。

しかし、サンビスタは、戦意を喪失するどころか抜群の手応えで直線を迎え、デムーロのアクションに迎え、馬群の間を縫いながら一完歩一完歩跳ねるように入出して、正に「チャンピオン」の名にふさわしい走りで見事優勝を飾りました。



関係者皆さんで歓喜の万歳！



今度は皆さんで乾杯！

黒毛和牛素牛 市場販売成績 (平成27年12月市場)

12月市場においても平成27年の好調さそのままに順調な取引価格となりました。そして、本市場では、東別地区の上野正恵さんが販売した去勢牛が、平成27年最高にして初となる100万円を突破する取引価格となりました。(※取引結果については、守平町・ホクレン南北北海道市場でのもの。)

平成27年12月市場 (12月3日開催)

販売頭数	76頭 (去勢 44頭 めす 32頭)
販売金額	55,610,280円 (去勢 34,277,040円 めす 21,333,240円)
平均価格	731,714円 (去勢 779,024円 めす 666,664円)
最高価格	去勢 1,004,400円 (東別地区 上野正恵さん販売) めす 797,040円 (東別地区 上野正恵さん販売)

理事会報告

11月理事会 (25日)

1. 対策農家の状況報告について
2. 特別対策農家の資産処分 (一部) について
3. 対策農家の長期資金 (借換) の貸付について
4. 一般農家の長期資金 (借換) の貸付について
5. 長期資金の貸付について
6. 出資金の減口について
7. 年末手当の支給について



年末・年始業務日程



区分	12月		1月												
	30日(水)	31日(木)	1日(金)	2日(土)	3日(日)	4日(月)	5日(火)	6日(水)							
下記以外の業	平常営業 8:30~17:00		休業						平常営業 8:30~17:00						
金融店舗	平常営業 8:30~16:00								平常営業 8:30~16:00						
ATM	本所	ATM 8:30~18:00							ATM 9:00~12:00	ATM 8:30~18:00					
	役場	ATM 9:00~17:30								ATM 9:00~17:30					
	豊畑	ATM 8:30~18:00							ATM 9:00~12:00	ATM 8:30~18:00					
	東静内	ATM 8:30~18:00							ATM 9:00~12:00	ATM 8:30~17:30		ATM 8:30~18:00			
Aコープ しずない店	平常営業 8:30~18:00	営業 8:30~12:00							平常営業 8:30~18:00						
本所給油所	平常営業 7:30~19:00	営業 7:30~12:00							営業 8:30~17:30		営業 7:30~18:00 平常営業1月7日~ 7:30~19:00				
事業所給油所	平常営業 8:30~18:00	営業 8:30~12:00							営業 8:30~17:30		平常営業 8:30~18:00				
日高中部農協 機械センター	休業(12月30日~1月7日) 自動車の事故処理(レッカー搬送)は、24時間受付しております。 TEL 0146-42-7051														

休日の車の事故受付は JA共済事故受付センター TEL 0120-258-931 までご連絡をお願いします。

平成28年 地区別懇談会日程表

平成28年地区別懇談会を以下の日程で実施致します。

組合員の皆様には、万障お繰り合わせの上、ご出席頂きますようご案内申し上げます。

月日	時間	農事組合名	会場
1月27日 (水)	午前10時~ 午後0時30分	静内一・駒場・中野一・中野二・神森 昭和・真歌・有勢内・目名・田原 田原高台・桔梗・親和	神森会館
	午後5時30分~ 午後8時	御園・農屋・豊畑一・豊畑二・豊畑三 上豊畑・豊畑振興	豊畑生活館
1月28日 (木)	午後1時30分~ 午後4時	春立・東別一・東別二・東別三	東別生活センター
	午後5時30分~ 午後8時	浦和・あざみ・東静内・あけぼの・川合一 川合二・川合三・西川一・西川二・西川三	川合生活館

※ご自身の地区で都合のつかない方は、ご都合のつく地区でのご出席をお願い致します。